

1 どのような性格・パーソナリティか

一般的に好ましい傾向



型	性格の側面	弱	普通	強	指数
思索型	内閉性 : 社交意識が低い	●			35
	客観性 : 思考的思慮深い			●	76
活動型	身体性 : 機敏な・気軽な			●	61
	気分性 : 感情のまま行動	●			42
努力型	持続性 : 几帳面・忍耐力			●	53
	規則性 : 常識的・順法的	●			24
積極型	競争性 : 勝気な・積極的			●	65
	自尊心 : 気ぐらいが高い	●			50
自制型	慎重性 : 見通しをつける			●	47
	弱気さ : 取越苦労・遠慮	●			42

■この人の中心性格は「思索・客観性」および「積極・競争性」であるが、「活動・身体性」や「努力・持続性」といった側面も本人は意識している。

●「思索・客観性」及び「積極・競争性」の人のパーソナリティスケッチ

自分の内面的世界で独自の価値観を形成し、自分自身を深く見つめていて、発想やアイデアにはセンスのよさを感じさせる。また、たくさんの交友関係を望んでいるわけではないが、気の合う友人とは深い付き合いをしていて、他人など周囲への配慮もみられるという社会性をそなえている。そして、冷静かつ確かな判断をしようとしていて、客観的なものの見方をしている。ときに、その客観的すぎる判断や意見について、冷たいとの印象を他人に与えてしまうことがあるが、そこに他人を見下したり冷笑するような発言がない限り、おおきな障害になることはない。物事の取り組み方は、内容と結果を検討しながら、加えて他人と比較しながら、自分が評価されることが重要と考えることがある。多少、勝気な性格といえ、他人と競合するような場面では実力以上の結果を生み出すことがある。精神的には独立していて、他人に依存したり、押しつけがましさは好むところではない。思いあがった独善性もなく対外的には頼りになるが、他罰的傾向もみられる。

●もう一方の性格特性

規則や秩序を気にせず、自由奔放な行動をとる。常識的、固定的な発想ばかりでなく、柔軟な考え方ができる。ルールにしばられてこちこちなわけでもなく、気ままな生活ぶりである。ただ、社会秩序を気にしないことが何に關係するか見極めが必要かも知れない。

2 どのような関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	普通	強	指数
日常周辺事型			●	23
客観・科学型			●	47
社会・経済型			●	50
心理・情緒型			●	49
審美・芸術型			●	70

俗世間的な事に興味が無い。しきたりなどは気にしない。

芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

性格・特徴へのコメントです。

信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

「41~53」普通

診断項目	弱	普通	強	指数
積極性			●	71
協調性			●	61
責任感			●	66
自己信頼性			●	70
指導性			●	69
共感性			●	47
感情安定性			●	61
従順性			●	29
自主性			●	62
モラトリアム傾向			●	41

自らの意見や提案を出し、率先して実行に移そうとする。
 仲間と一緒に考え、協力して目標に向かうことができる。
 自分の発言や引き受けた事に対し、責任を持つようとする。
 自分の意思や行動に自信があり、周囲からも信頼される。
 皆から頼りにされ、意見や行動をまとめていこうとする。
 多少の事で動揺したりせず、気持ちにムラが少なく安定。
 強く命令されたりすると、その相手に対して反感をもつ。
 自分で決断をすることができ、自発的に物事を実行する。

40点以下、54点以上の場合コメントができません

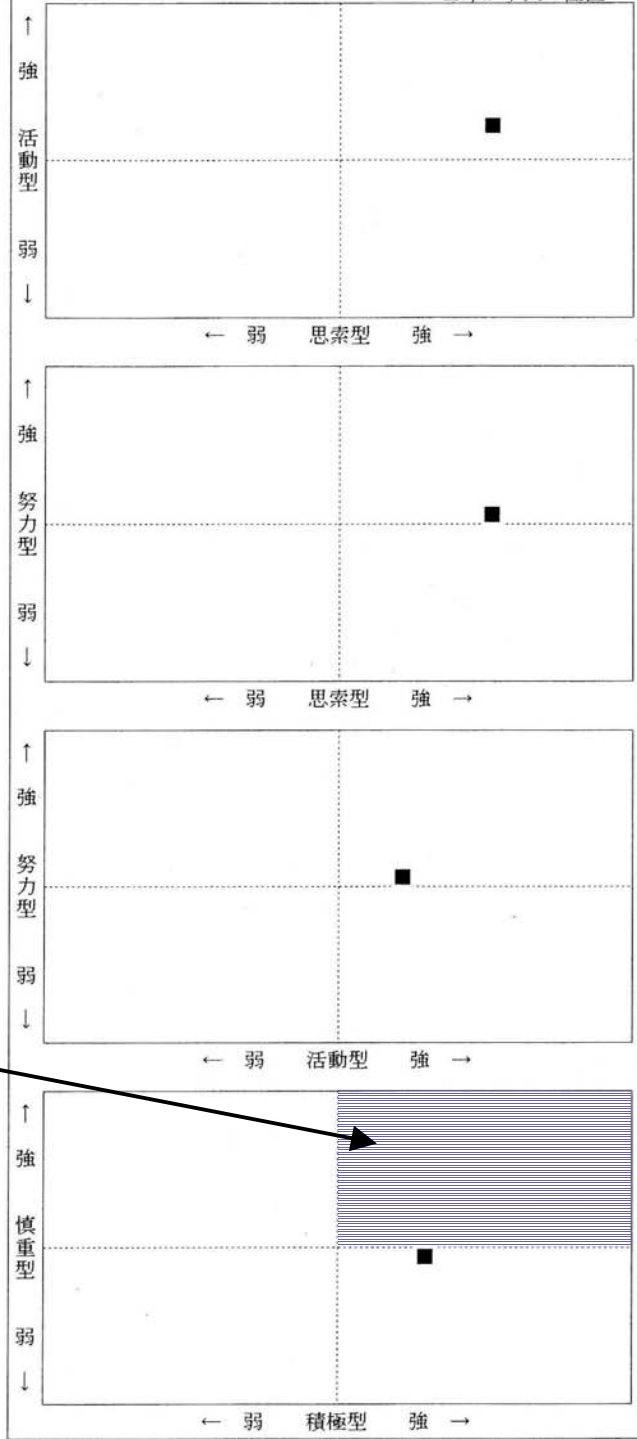
4 どのように意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	普通	強	指数
達成 欲求			●	55
親和 欲求			●	51
求知 欲求			●	66
顕示 欲求			●	73
秩序 欲求			●	35
物質的欲望			●	43
危機 耐性			●	76
自律 欲求			●	56
支配 欲求			●	60
勤労 意欲			●	64

困難な目標にも努力し、常に自分を向上させようとする。
 知的な好奇心が旺盛で、新しい事や珍しい事を追求める。
 自分が輪の中心となり、人を楽しませたり興奮させたい。
 多様な価値観や人間関係、状態を受入れることができる。
 逆境に耐え、苦しいときも我慢よくやり抜こうとする。
 他人に依存したり頼りきった生活より、自力で生きたい。
 人の上に立ち、他人を動かすような力関係を形成したい。
 仕事への意欲があり、生きがいの部分として考えている。

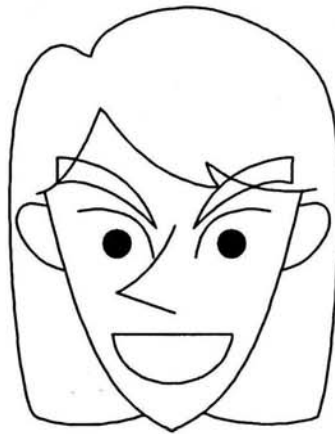
■この人は「苦勞を乗り越え、成長したい」系統の欲求群が一番強く、ついで「人より優位に立ちたい」系統の欲求群となっている。逆に「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群には淡泊な反応である。

【本人の性格特性】 ■印が本人の位置



【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性 眉の傾き：従順性
 瞳の直径：達成欲求 目の傾き：達成欲求+求知欲求
 鼻の高さ：顕示欲求 口の形状：親和欲求+協調性
 顔の輪郭：性格類型
 逆三角顔 = 思索型 丸顔 = 活動型
 エラ顔 = 積極型 角顔 = 努力型
 細長顔 = 自制型



【自己評価】

意欲・ヤル気	管理・対人能力	思考能力
積意根責決指リ自調折 極欲気任断導 己整衝 実熱強感勇力ダ信力力 行意さ気 頼新析案識用	A A B A A B B A B B	A A A B B B
A	B	B

【採用判定】

定着性・安定性 = 6

CUBICの判定結果 = 「B」

「-35」~「+35」まで
 「-10」以下は定着率
 は低い

5段階評価

- 「A」...採用は有望。適性は高い。
- 「B」...可能性は大きい。慎重な面接が必要。
- 「C」...まあまあ。配置先の検討が必要。
- 「D」...適性の幅が狭い
- 「E」...採用は難しい。適性は低い。

【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性	██████████	46
(2) 海外など精神力の必要な職務	██████████	71
(3) 足腰のよさが武器になる職務	██████████	63
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	██████████	57
(5) 標準化された仕事や工場労働	██████████	49

【判定結果B】当人の傾向

「内勤型職務」 「外勤型職務」
 「組織型人間」 「非組織人間」

【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- 「最適」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- 「最適」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- 「適切」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- 「適切」営業など対人的接触をとる仕事
- 「適度」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- 「小適」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事

【判定結果D】配置適性1

《適性の高い順》

- 「最適」研究管理者
- 「最適」基礎研究管理者
- 「最適」基礎研究者
- 「最適」広報管理者
- 「最適」研究開発者
- 「最適」営業管理者

《低い順》

- 「努力」営繕専任者
- 「適度」経理専任者
- 「適度」経理管理者
- 「適切」秘書専任者
- 「適切」人事専任者

【判定結果E】配置適性2

- 「最適」新規事業開発
- 「最適」調査分析
- 「最適」顧客開発
- 「最適」商品企画・開発
- 「最適」経営企画
- 「最適」研究開発

- 「努力」購買
- 「努力」総務
- 「努力」受注窓口
- 「努力」倉庫
- 「小適」品質管理